



終活カウンセラー協会主催 「終活フェスタ2014 in東京」に3,230人が来場



2回目となった「終活フェスタ」には、39団体が出展。会場では、老若男女問わず終活カウンセラー協会のゆるキャラ「シュウキャッツ」と写真撮影をする姿が目についた



会場内に多数の休憩コーナーを設けたことで、来場者の滞留時間はかなり長かったようだ



遺影写真撮影のブースには、最後まで順番待ちが続いた



北関東ラフターヨガ研究会による「笑いヨガ」

終活に関する抽象的な「悩み」の中身が、どの分野の悩みであるのか、またどの専門家が必要であるかを見極め、的確なアドバイスができるスキルを身につけた「終活カウンセラー」の資格認定を行なっている一般社団法人終活カウンセラー協会（本部東京都品川区、代表理事武藤頼胡氏）は、8月24日、ゆりかもめ竹芝駅にほど近い東京都立産業貿易センター 浜松町館において「終活フェスタ2014 in東京」を開催した。

昨年に続き2回目の開催となった同フェスタには、主催者を含む39団体が出展。

葬祭事業者、手元供養、散骨、遺品整理、霊園、遺影写

真スタジオ、保険といった、葬祭業界に関連する事業者の出展以外にも、住宅リフォームやパソコン教室などの出展もあり、まさに「終活」に関連する構成となった。

9時30分に開場した同フェスタは、会場の一画に設けたステージにおいて、主催者側から武藤代表理事による「終活セミナー」を皮切りに、午前中に遺品整理・生前整理事業者リリーのチーフディレクター屋宣明彦氏による「お片付けセミナー」、法律事務所アルシエンの代表弁護士武内優宏氏による「遺言セミナー」、沖縄県在住の歌手で終活カウンセラーでもある小浜一恵氏による「ミニリサイタル」と続き、いずれも多数の聴講者が熱心に聞き入ってい



終活カウンセラー協会西森義人理事、武藤頼胡代表理事、アルシエン武内優宏氏、心光院戸松義晴住職に加え、歌手の中尾ミエ氏によるパネルディスカッション



好評だった死装束を着ての入棺体験



た。
 午後は同協会理事で、エムズコーポレーション社長の西森義人氏のコーディネートにより、「私の終活 ありがとうを伝えたことありますか」と題したパネルディスカッションに、武藤代表理事、武内氏、流通ジャーナリストの故金子哲雄氏の葬儀をとり行なった浄土宗心光院住職の戸松義晴師に加え、歌手の中尾ミエ氏の4氏が登壇した。ありがとうを伝えたい人とその理由を各登壇者が発表するなか、中尾氏は「還暦を過ぎて、これまで日の日を見なかったものに光を当てたいと考えるようになった。もう一度チャレンジすると、自分の整理になり、信念がすっきりする」と、

終活に関する持論を展開。「歌わない」と宣言していた同氏だが、最後には持ち歌のサビの部分「ベイビー」を「婆婆」に変え、聴講者との掛け合いでワンフレーズを歌い拍手喝采のなか幕を閉じた。

その後、北関東ラフターヨガ研究会による「笑いヨガ」、終活カウンセラー上級インストラクターの賀集一弥氏による「エンディングセミナー」と続き、最後は温泉旅行などが当たる抽選会で閉幕となった。

来場者は去年の2,100人を大幅に上回る3,230人を数えた。3回目となる来年の同フェスタは、会場を変更して2日間での開催を予定している。